

事務事業 No./名称	<input type="checkbox"/> サービス部門 <input checked="" type="checkbox"/> 支援部門 教育-26 教育指導事業						
主管課	教育指導課	関連課					
分野名	学校教育						
目標 (目標値)	学校教育運営を円滑に進めます						
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考		
	人口	177,895人	177,224人	177,204人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯			
	事業の対象者数	11467人	11391人	11301人			
運営資源状況	決算値(千円)	10,835	8,236	8,531			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	10,835	8,236	8,531			
	人員配置数	1.8人	2.2人	1.8人			
	人件費(千円)	14,256	18,016	16,536			
事務事業 運営経費	協働のパートナー						
	総事業費(千円)	25,091	26,252	25,067			
	市民1人当りの経費(円)	141	148	141			
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	対象者1人当りの経費(円)	2,188	2,305	2,218			
	団体名⇒						
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
就学支援委員会開催日数	◎	目標値	5回	5回	5回	5回	5回
		実績値	5回	5回	5回	5回	
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退							

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
教育指導運営事業	10,835	教育指導運営事業の一部	1,538	今後の方向性	B	理由・手法	事業の円滑な運営のために予算の確保に努める。
		教育政策事業	2,884	今後の方向性	B	理由・手法	事業の円滑な運営のために予算の確保に努める。
		特別支援教育事業の一部	7,731	今後の方向性	B	理由・手法	事業の円滑な運営のために予算の確保に努める。
				今後の方向性		理由・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	・就学相談、教育相談希望者が年々増加するとともに、相談内容が多様化・複雑化しているための就学相談担当者の恒常的超過勤務。 ・小中一貫教育の推進に必要な予算の確保。										
課題解決のための取組	・就学相談が複数回・長時間にわたるため、他業務との調整が必要である。 ・小中一貫教育推進校の予算が確保されたため、事業の円滑な運営に努める。					取組の結果	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決				
未解決の課題	・就学相談、教育相談希望者が年々増加するとともに、相談内容が多様化・複雑化している。 ・小中一貫推進校による実践研究の検討及び「鎌倉市教育課程編成の方針」の作成。										
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)		➡	①効率性	△	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	・就学相談が複数回・長時間にわたるため、他業務との調整が必要である。 ・さらなる小中一貫教育の拡充のための予算が必要である。							A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	➡	A	
※○事業完了											

評価者名

教育指導課長

川合 良宏

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
教育指導運営事業	各種会議及び協議会等に参加し、専門的資質の向上を図る。 9年間を見通した教育課程を編成・実施し、中学校区において小中連携の取組を強化する。 特別な支援を必要とする児童生徒の支援をすることで学校教育運営を円滑に進める。				○	○	○	○	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		979・131	消耗品費	497	457	○	○	○	○
		131	県立体育センター使用料	13	12	○	○	○	○
		131	第54回関東甲信越地区公立学校教頭会研究大会 (小・中学校)等負担金	580	531	○	○	○	○
		979	小中一貫教育推進校非常勤講師報酬	5,166	2,430	○	○	○	○
		979	小中一貫教育検討委員謝礼等	138	68	○	○	○	○
		979・131	就学支援委員会委員等費用弁償	454	87	○	○	○	○
		131	就学支援委員会委員報酬	150	70	○	○	○	○
131	肢体不自由学級送迎用バス運行業務委託料	7,328	7,180	○	○	○	○		
※□	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※□	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※□	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※□	事業完了								